

TECドクターによる現地調査(佐賀県唐津市浜玉町測上)

能登半島地震に伴う盛土緊急点検で詳細調査と必要と判断した箇所の現地診断を行い、今後の対策方針について助言を受けた。

- ・実施日:現地診断/令和6年12月24日・防災検討会/令和7年2月12日
- ・場 所:国道202号 上り線 40k710付近
- ・参加者:福岡大学 佐藤 研一 教授、九州大学 石藏 良平 准教授

現地診断



現地診断



防災検討会



【TEC-Doctorの見解】

【現況への評価】

- ・路面のワダチや亀甲状のクラック、法面の浸食や擁壁天端の水路が沈下する変状を確認した。表流水の処理がうまくできず、盛土材の抜け出しによって路盤が緩んでいる可能性がある。

【今後の対策方針】

- ・道路側溝や盛土排水溝の清掃を行って排水機能を確保する。
- ・湧水が確認でき盛土内の水位が高いと予想されるため、水抜きボーリングで水位低下を図る対策が有効である。
- ・浸食部は埋め戻しを行い表面保護機能を確保する。
⇒今年度は引き続き経過観察を行い、詳細調査結果を踏まえて次年度以降必要に応じて対策を講じる。